

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和 5 年度 第 4 回 高松市行財政改革推進委員会
開催日時	令和 5 年 8 月 2 4 日 (木) 午前 9 時 3 0 分～ 1 1 時 3 0 分
開催場所	防災合同庁舎 3 階 3 0 1 会議室
議 題	令和 5 年度高松市外部評価 (第 2 日目) (1) ホームページ等管理運営事業 (2) ファシリティマネジメント推進事業
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	溝渕委員、竹内委員、植原委員、大美委員、関委員 曾根委員、田井委員、野村委員、松本委員
傍 聴 者	4 人 (定員 2 0 人)
担当課及び 連絡先	人事課行政改革推進室 839-2160

審議経過及び結果

令和 5 年度高松市外部評価 (第 2 日目)

(1) ホームページ等管理運営事業

判定結果 改善

評価

市公式の X (旧 Twitter) や LINE などの SNS を利用した情報発信を行っているが、フォロワー数の増加とさらなる利用促進につなげるため、若い世代の目線での情報発信が効果的と考える。

市公式 LINE では、市公式ホームページに遷移するようになっており、ホームページの閲覧数が多くなっている現状から、優先的にホームページのコンテンツ内容と目的別階層を整理し、他都市のホームページ等を参考に、市民にとって分かりやすく、魅力あるホームページにリニューアルしていただきたい。

なお、担当課で検討している「たかまっぷ」から「高松市スマートマップ」への移行については、引き続き移行する方向で進めていただきたい。

主な意見

- ・市公式 SNS のフォロワー数を増加させるには、攻めの広報により多くの人に注目されるような情報発信が必要ではないか。

- ・若い世代の活力を情報発信に役立てるなど、情報発信の方法を工夫していただきたい。
- ・市公式ホームページについて SNS から遷移できる点や閲覧数が増加している点などから、まずはコンテンツ内容と目的別階層を整理し、また、他都市のホームページを参考に、市について学べる観光のモデルコースの公開や、市の様子の写真を大きく掲載するなどの工夫をすることで、市民にとって分かりやすく、魅力あるホームページにリニューアルしていただきたい。
- ・「デジタル市役所」に集約している電子申請が可能な行政手続きについて、市公式 LINE から手続きをできるようにしてはどうか。
- ・AI チャットボットを市公式 LINE 等に取り入れてはどうか。市民が行政とやりとりができることで、親近感や信頼性が増すのではないかな。
- ・普段 SNS を使用しない世代ではあるが、今回の外部評価により市公式 SNS を登録してみたいと思った。より多くの人に PR して、登録したいと思う人を増やしていただきたい。
- ・市公式 LINE は、ごみ収集日や防災情報などがリアルタイムで受け取ることができ、非常に便利で使いやすいため、市民への周知啓発を積極的に行い、利用者の増加に努めていただきたい。例えば、市公式ホームページから市公式 LINE へ誘導できるリンクを表示させてはどうか。
- ・「広報高松」は PDF ファイル形式でホームページに掲載されているが、その PDF 内のリンクからホームページへ遷移できるようにしてはどうか。
- ・本市ホームページと香川県ホームページに掲載している内容の相違により、市民が混乱を招くことがないように、香川県とホームページ更新情報の共有を図っていただきたい。
- ・高松市地図情報システム「たかまっぷ」からオープンデータ「高松市スマートマップ」への移行については、引き続き関係課と協議し、進めていただきたい。

(2) ファシリティマネジメント推進事業

判定結果 改善

評価

ファシリティマネジメント推進に係る方針や計画を策定し、その進捗管理に取り組んでいるとのことだが、公共施設の廃止や複合化・集約化が進まない中、施設所管課とファシリティマネジメント推進室が緊密に連携して個別の再編整備実施計画の策定に

つなげるなど、これまで以上に組織横断的な視点を持って事業を進めていく必要がある。

施設の空きスペース等については、市民サービス向上の観点から、利用希望のある市民の意見を十分に取り入れた利活用方針を定めるなど、広く利活用ができるような検討をしていただきたい。

また、事業の進捗を市民に分かりやすく「見える化」する観点から、今後、事業の成果指標を見直す必要がある。

主な意見

- ・施設所管課とファシリティマネジメント推進室が緊密に連携して個別の再編整備実施計画の策定につなげるなど、これまで以上に組織横断的な視点を持って事業を進めていく必要がある。
- ・施設の空きスペース等については、市民サービス向上の観点から、利用希望のある市民の意見を十分に取り入れた利活用方針を定めるなど、広く利活用ができるような検討をしていただき、市民が使いやすく、柔軟な利用方法ができるようになればよいと考える。
- ・施設ごとの個別の再編整備実施計画の内容については、適切なタイミングで市民に分かりやすく発信していただきたい。
- ・コミュニティセンターは、災害時に拠点となることから、他の施設よりも優先的に整備を進めて欲しい。
- ・事業の進捗を市民に分かりやすく「見える化」する観点から、現状に合わせて、今後、事業の成果指標を見直す必要がある。